



令和5年11月27日
道路局企画課

フィリピン国において「道路トンネルの建設・O&M（運営・維持管理）」 に関するビジネスワークショップ」を開催しました。

令和5年11月15日、フィリピン国マニラ市において国土交通省はフィリピン公共事業道路省と「道路トンネルの建設・O&M¹に関するビジネスワークショップ」を開催しました。

ワークショップにおいて、両国から道路トンネル建設・O&Mに関する講演を行った後に、両国民間企業のビジネスマッチングを促進する交流会を実施しました。

■ビジネスワークショップの概要

- (1) 開催日：令和5年11月15日（水）
- (2) 場所：フィリピン国マニラ市 ダイヤモンドホテル
- (3) 参加者：国土交通省、在フィリピン日本大使館、JICAフィリピン事務所、フィリピン公共事業道路省、両国の民間企業計約45社
- (4) 議事次第：
 1. 講演内容
 - ・ダバオバイパストンネル事業の工事進捗状況およびO&Mの調達条件（フィリピン公共事業道路省 コンサルタント）
 - ・ダルトンパス東代替道路建設事業（JICA フィリピン事務所）
 - ・最先端O&M 技術の紹介（中日本高速道路株式会社）
 - ・フィリピンにおけるインフラ整備事業（フィリピン公共事業道路省）
 - ・大規模修繕・リニューアルプロジェクト（首都高速道路株式会社）
 2. 昼食・ビジネス交流会



国土交通省道路局
長谷川審議官の挨拶



フィリピン公共事業道路省
サダイン上級次官の挨拶



ワークショップ会場の様子

【問い合わせ先】

道路局企画課国際室 平岩、野々田

電話（代表）03-5253-8111（内線37542）（直通）03-5253-8906

¹ Operation and Maintenance：運営・維持管理

■ワークショップ開催の背景・今後の取組

ダバオバイパスはダバオ市南端部と同市中心部を結ぶバイパス道路（約2.3kmのトンネルを含む）事業で、フィリピンでは初の本格的な道路トンネル（ダバオトンネル）が建設される予定です。令和2年4月に清水建設・竹中土木・フィリピン企業JVが受注しており、本邦技術活用案件（STEP案件）として工事が進められています。

令和4年10月、国土交通省とフィリピン公共事業道路省は、両大臣で協力覚書（Memorandum of Cooperation：MOC）を締結し、道路トンネル技術の共有やビジネスマッチングためのワークショップの継続開催、定期的な意見交換の会合の実施、日本の高速道路会社のビジネス活動の支援についての協力が確認されました。

当該覚書に基づき、今般、昨年度に引き続きビジネスワークショップを実施し、日本の高速道路会社及びフィリピン企業のビジネス協力の推進、道路トンネル技術の共有を行いました。

関連事業の概要

ダルトンパス東代替道路建設事業

○実施機関：フィリピン公共事業道路省（DPWH）【予定】

○事業内容：トンネル区間を含む約10～20kmの山岳道路の建設

○現 状：調査段階

○備 考：

トンネル区間において、変位計測技術の活用や水平ボーリングなどによる前方探査工法の活用を期待

バギオ大地震のほか、過去約30年の間に、9回の大型台風により、法面崩壊などの被害を受けており、災害対応における協力も期待

ダバオ市バイパス建設事業

○実施機関：フィリピン公共事業道路省（DPWH）

○事業内容：4車線、トンネル含む約30kmバイパス道路

○現 状：本体工事着工（清水・竹中土木等のJV施工）

○備 考：

トンネル区間での掘削技術、補助工法、計測技術、法面工法等の本邦技術の活用を期待

